資料８

**大阪府咲洲庁舎低層階（７階～17階）の有効活用に関するサウンディング型市場調査　結果概要**

**１　調査期間**

・実施要領の公表　　　　　令和６年９月４日（水）

　・現地見学会の開催　　　　令和６年９月17日（火）・18日（水）

　・提案書の受付　　　　　　令和６年10月15日（火）～16日（水）

・対話の実施　　　　　　　令和６年10月24日（木）～30日（水）

**２　参加者**

・現地見学会参加者数　　　９者

　・提案（対話実施）者数　　７者

　・提案者の業種　　　　　　ホテル業、不動産業、投資ファンドなど

**３　提案の概要**

　・利用形態は、すべての提案においてホテル（レストラン等の付帯施設を含む）の運営であった

　・利用する（府から借り上げる）フロアは、本調査の対象フロア全体である７階～17階が多く、

ホテルとして完成している10階～17階のみとする提案もあった

　・10階～17階については、居抜きでの利用（一部内装改修等を含む）を前提とする提案が大半で

あった

　・ホテル客室への改修工事が中断している７階～９階の利用については、工事を再開し、すべて客室とする提案のほか、客室に加えスパ、フィットネス、会議室、団体客用の食事スペースなどを設ける提案もあった

　・７階～９階の開業時期について、10階～17階を先行開業した後に改修工事を再開し、段階的に事業展開していく提案が大半であった

・客室内の家具、什器、テレビ、ベッド等については、継続利用とする提案が大半であった

　・想定する事業期間は、最短が10年（状況により延長の可能性あり）、最長が20年であった

　・公募の開始から応募までの期間としては、2か月～3か月を要するとの意見が大半であった

**４　今後の対応**

　　本調査の結果を踏まえ、咲洲庁舎低層階の新たなテナントの公募条件の検討を進める